

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1、Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 都市計画法に規定されている市街化区域、市街化調整区域をそれぞれ説明し、都市計画に区域区分を定める目的を述べよ。また、都市計画に区域区分を定めた場合に生ずる法律上の効果を2つ挙げ、それぞれ概要を述べよ。

Ⅱ-1-2 近年、各都市で導入又は検討が進められている次の都市交通施策について、それぞれの施策の概要を述べよ。

- (1) LRT
- (2) コミュニティサイクル
- (3) トランジットモール

Ⅱ-1-3 良好な景観形成に資する建築物の規制・誘導手法としての次の3つの制度について、それぞれの概要を述べよ。

- (1) 景観計画
- (2) 地区計画
- (3) 建築協定

Ⅱ-1-4 都市緑地法に基づく次の制度について、それぞれの概要を述べよ。

- (1) 緑地協定
- (2) 緑化地域
- (3) 認定市民緑地

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 戦災復興等で形成された小規模な街区や，細分化された土地の存在する市街地において，土地の集約化や街区の再編等を機動的に進め，新たな都市機能の立地を促進するために，あなたが担当責任者として，土地の個別利用と高度利用の両立を可能とする市街地整備手法（以下「土地・建物一体型の市街地整備手法」という。）の導入を検討することになった。以下の問いに答えよ。

- （１）当該市街地において，土地・建物一体型の市街地整備手法が有効である理由を述べよ。
- （２）導入が適切と考える土地・建物一体型の市街地整備手法を１つ提案し，その特徴と実施手順の概要を述べよ。
- （３）（２）で述べた手法を活用して市街地整備を進めるに当たり，留意すべき事項を述べよ。

Ⅱ－２－２ 人口減少・少子高齢化が進むとともに，財政制約が高まりつつある都市において，今後も緑とオープンスペースの確保とその活用に関する施策を，総合的かつ戦略的に進めていくために，あなたが担当責任者として緑の基本計画の見直しを行うこととなった。以下の内容について記述せよ。

- （１）この都市の現状から想定される緑とオープンスペースに関する課題
- （２）（１）の課題を踏まえた，緑の基本計画の見直しの手順とその内容
- （３）実効性の高い計画とするための工夫又は留意すべき事項

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1、Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 空き地・空き家等の低未利用地が時間的・空間的にランダムに発生する「都市のスポンジ化」が進行している都市において、あなたが担当責任者として立地適正化計画を策定し、コンパクトシティの推進を図ることとなった。以下の問いに答えよ。

- (1) 都市のスポンジ化が進む背景とそのような地域が持つ課題について述べよ。
- (2) 立地適正化計画において定めようとする都市機能誘導区域及び居住誘導区域内でスポンジ化が進行している場合、計画を実現するために必要となる取組について複数提案せよ。
- (3) (2) で述べた取組を実施するに当たって考慮すべき事項と対応方策を述べよ。

Ⅲ-2 大規模な市街地火災が発生した人口減少・少子高齢化が進む人口数万人の地方都市において、あなたが都市計画・まちづくりの担当責任者として、被災地の復興まちづくり計画を策定することとなった。以下の問いに答えよ。

- (1) 復興まちづくり計画を策定する上で検討すべきまちづくり上の課題を述べよ。
- (2) (1) で述べた課題を解決するために必要となる具体的な方策を述べよ。
- (3) (2) で述べた方策を実施する上で、想定される負の側面と対応方策を述べよ。